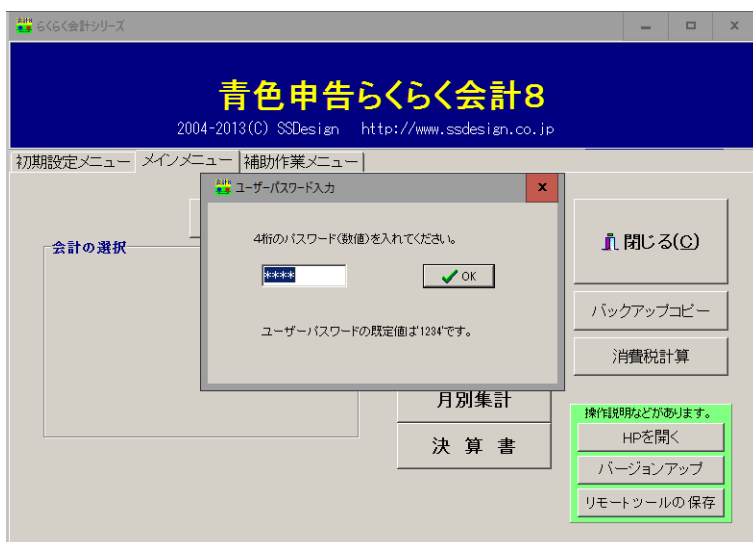


ソフトの起動と最初の設定

1. ソフトの起動

実行プログラム kaiA8.exe を開くと、ソフトが起動して次のような画面になります。



(注意)

- ▶ “青色申告会計”のフォルダはどこに置いても実行できますが、**program files** の中に置くと起動時に常に“管理者権限”で開かないと、バーチャル領域にデータを保管するようになり後々管理が大変になりますので、推奨は**Cドライブ**か**Dドライブ**の直下においてください。

ただし、kaiA8_ad.exe(PCA 販売管理と連携したソフト)の場合は、**programfiles** の中に“青色申告会計”のフォルダを入れてください。

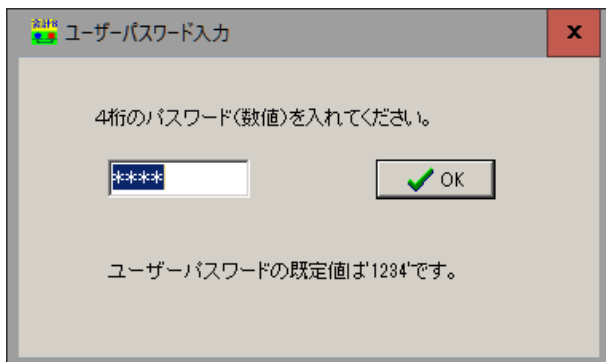
- ▶ サーバーに“青色申告会計”のフォルダを置いて運用する場合は、同時にソフトを起動させないでください。
- ▶ ソフトの起動の途中で、ウイルスソフトからの“セキュリティー警告”が出る場合がありますが、“許可”する方向で選択してください。

(補足)

“複式簿記”も同様です。

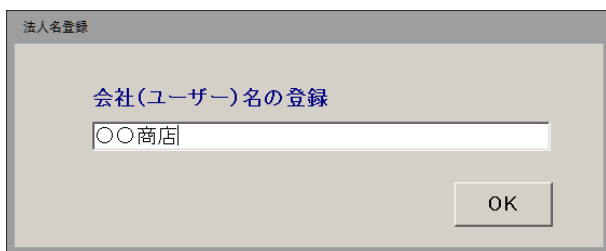
2. ユーザーパスワード

ユーザーパスワードの入力画面では、そのまま“OK”ボタンを押してください。
このユーザーパスワードは後で、
初期設定メニュー ⇒ 会計期首 の画面で変更できます。



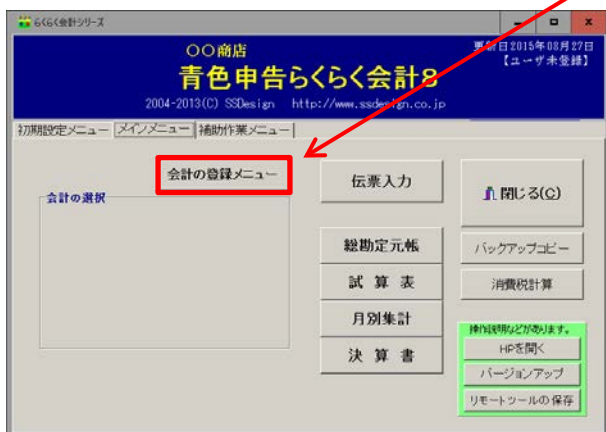
3. 法人名の登録

法人名の登録画面が出てきたら、下記の例のように法人名を入れてください。



4. 会計の登録メニューと初期の設定事項

最初はこのようなメインメニューになりますので、会計の登録メニューのボタンを押してください。



会計の名称とデータパス名を下図の例のように設定してください。

code	会計の名称	データパス名 (データを保存する場所)
	2016年会計	2016年
1		
2		
3		

上記の設定例は、“青色申告会計”のフォルダの中に“2016”というデータフォルダが作成されます。基本的にはこのようなデータパス名で運用してください。

メインメニューに戻り、会計の選択で登録した会計をクリックしてください。

会計の選択

2016年会計

新規に会計登録をすると、最初に次のような画面が出ますので、取りあえず会計期首を設定してこの画面を閉じてください。

初期設定 1

ライセンスキー登録

閉じる (C)

会計期首

2016/01/01

例) 2005/01/01

印刷時の表示選択

和暦表示

西暦表示

職印 1

職印 2

職印 3

職印 4

職印 5

消費税計算

本則計算をする

消費税計算はしない

簡易計算をする

パスワード (4桁の数値)

他の事項については、後で別途説明します。

次に勘定科目の雛形を選びます。

勘定科目は後で変更が出来ますが、一番近いものを下記より選んでください。

勘定科目の選択

勘定科目の雛形を選択

会計の名称 2016年会計
データベース名 2016¥

個人事業
 個人事業製造業
 法人会社
 法人会社製造業
 農業所得
 不動産所得

間違っで選択した場合は、データベースを削除して、勘定科目の雛形を選択してください。

実行

以上の操作で、最初に設定する基本事項が設定できました。

勘定科目の“ひな形”の選択は、新規にデータベース名を設定した最初しかできませんが、もしやり直したい場合は、下図の例のように新規に作成されたデータフォルダを削除すると、もう一度作成しなおすことが出来ます。ただし、運用途中でデータフォルダを削除すると、仕訳データ等も削除されますので、“勘定科目設定”の画面で、勘定科目の調整をしてください。

